

**「神経変性疾患における新規バイオマーカー検索
—早期アルツハイマー病理における神経炎症シグナルの解明—
に関する情報公開**

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に「神経変性疾患における新規バイオマーカー検索」の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

神経変性疾患における新規バイオマーカー検索
—早期アルツハイマー病理における神経炎症シグナルの解明—

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 村山繁雄

●研究の対象

2001年7月～2022年1月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病と診断された方および顕著な疾患なしと診断された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から2026年2月まで

●研究の目的と概要

神経変性疾患の多くは家族性の遺伝的変化がなく、孤発性に発症します。従って、孤発性疾患の病態の解明は重要な課題の一つです。そこで、私達は、アルツハイマー病などの孤発性神経変性疾患により発現が変化するタンパク質を探索し、ミクログリアの活性化について解析を行ってきました。この研究では、ミクログリア活性化に関わる分子病態についてさらに解析を進めて、治療薬のシーズにつなげる予定です。

●研究の方法

試料は匿名化されて、名古屋大学に送られます。

疾患患者脳と対照脳を用いて、ウエスタンブロット法やRNAシーケンス法により、ミクログリア活性化に関わる分子の発現の状態を調べます。ヒト脳で得られた結果は動物モデルによる結果と比較検討し、解析いたします。

●研究に使用する試料・情報

アルツハイマー病患者と顕著な脳変性疾患のない高齢者の凍結脳

それに付随する情報（診断名、年齢、性別、身体所見（認知機能検査結果）、病理学的解析結果、死後時間など）

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 村山繁雄
齊藤祐子
名古屋大学環境医学研究所 山中宏二

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク／神経病理 村山繁雄

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）